

英国のEU離脱



英国
メイ首相
欧州単一市場
からも脱退

正式通知
EU離脱
を支持



米国
トランプ
次期大統領
賢い選択だ。離
脱が続くだろう

※写真はAP、UPIな

与党保守党大会での演説で、今年3月末ま
でに正式通知すると表明した。ロンドン
の高等法院は昨年11月、正式通知前に議會
の承認が必要との判断を示した。上級審の
最高裁が今月下旬にも判決を下す予定。内
容次第では正式通知が遅れる可能性も指摘
される。

17日の円相場は、欧州連
後、欧州市場で一時112
合(EU) 離脱交渉で英国
円台に急伸した。円高進行
が強硬姿勢を示すとの警戒
感から、東京市場で1ドル
113円台前半に上昇した
柄に売り注文が広がり大幅

商機を西と

2017 いわて経済

②

― 県内の旅行業、観光業の現状をどう見るか。

「人口減とともに旅行者が減り、従来の業務だった旅行の宅配代行は個人でできる時代になった。団体旅行による大量送客の時代は終わり、地域色を打ち出した旅行商品開発や外国人観光客の取り込みが必要だが、県内業界の認識はまだ薄い。ニーズの変化に対応する努力が必要だ」

― 着地型観光の専門会社として創業し4年目に入る。自社のこだわりは何か。

「地域の歴史や自然景観上の流れを意識した行程を組み、地元の人と触れ合う『ストーリー性のある旅』は、大手にない強みとして自信を持っている。すこいものを見て、おいしいものを食べる『物見遊山』的な旅行は既にやり尽くされ、今求められているの

旅行業

北田 公子さん

トラベル・リンク代表取締役(盛岡)



「地元と連携し、岩手でしか体験できないストーリー性のある旅行を提供したい」と語る北田公子代表取締役

「体験型」充実へ連携

は人との交流や体験を伴う旅だ

― 例えばどんな旅行か。
「木工工房や酒蔵を巡る自社のツアーは参加者にも地元の人にも好評だった。参加者は作り手の話を聞くと商品に愛着が湧き、旅行から帰った後も商品を買ったといったつながりができる。岩手にはそうした体験型旅行に適した素材が多い」

― 県は昨年4月、観光地域づくり推進法人(DMO)三陸DMOセンターを創設した。三陸の総合的な観光ブランドづくりが期待される。
「DMOには三陸での観光メニューを充実させるだけでなく、周辺地域といかに協力態勢を構築し、三陸への流れをつくるのかに期待したい。三陸は観光業に限らず人手不足だ。漁業体験などの観光メ

ニューは増えているが、人材を確保できなければ疲弊してしまう。理想は『要予約』でなく、いつ行っても体験できること。それができれば旅行商品がさらに充実する」
― 本県への外国人観光客の誘客も発展途上だ。
「県内の宿泊施設ではホームページの多言語対応やWi-Fi(ワイファイ)などの受け入れ整備が進むが、外国

人が日本で体験したがる着付けやネイルアートなど観光業

北田 公子さん(きただ きみこ) 岩手大卒。大手旅行

代理店で団体客向けの営業を担当し、退職後の99年から盛岡市教委文化財調査員として旧第九十銀行本店本館(現もりおか啄木・賢治青春館)の文化財指定調査などに従事。市文化振興事業団を経て14年2月、旅行業トラベル・リンクを起業し、代表取締役。東北の旅行関連企業でつくる東北インアウトバウンド連合の理事。48歳。花巻市出身。

トラベル・リンク 2014年2月設立。資本金370万円。旅行の目的地側が観光メニューを提案する着地型の商品を扱い、県内で自然体験ツアーや街歩き、被災地ボランティアツアーなどを行う。16年に盛岡市内で開かれた工芸イベント「大日本市岩手博覧会」(実行委主催)では工房見学ツアーを手掛けた。スタッフ3人。盛岡市開運橋通2の23メイプル中央ビル3階。019・658・8644。

以外の分野は未開拓。観光に直接関わらない業種も外国人を意識できるかが今後の課題だ

― 今年の抱負は。

「ものづくり体験や工場見学ツアーなど旅行商品にならない素材はなく、さまざま人や業種とのネットワークを強化する。近隣県にも連携を広げ、広域的な観光ルートをつくることで外国人客らが東北、岩手に来る流れを確実にしたい」
(聞き手は報道部・一戸香織)